

事業所名 生活クラブ風の村重心通所さくら・児童発達支援

支援プログラム(児童発達支援重心理型)

作成日

2025年

3月

1日

法人(事業所)理念	私たちは、一人ひとりの個性と尊厳を尊重し、基本を大切にした質の高い支援を目指します。 私たちは、地域の皆さんと共に、誰もがありのままにその人らしく地域で暮らすことができるようなコミュニティづくりに貢献します。 私たちは、情報公開、説明責任を大切にするとともに、希望と働きがいがある職場を、自ら参加してつくります。							
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体性を中心に据えよう ～決めつけず、まずは気持ちを確かめる～</li> <li>・never say never ～できないと決めつけない～</li> <li>・「関心」こそが専門性 ～サインを見逃さない～</li> <li>・医療的ケアは本人の生活の一部 ～医療的ケアは“特別”じゃない～</li> <li>・あなたとわたしはパートナー ～わたしたちは共生している～</li> </ul>							
営業時間	終日時	9時	30分	15時	30分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>●当事業所は家庭での生活リズムを大切にし、生活の中で何に重点を置いているかを引継ぎ時や計画作成時等には必ずご家族に必要な情報をヒアリングします。その上で利用時に体調の確認、家庭での様子等を伺い、当日の過ごし方や支援の内容を適宜判断して対応します。</li> <li>●発達段階で昼寝も大事ななどご家族と相談し時間等を確認して生活リズムが安定するよう支援します。</li> <li>●医療的ケアのある利用者は家庭と同じタイムスケジュールで行えるよう専門職が共有認識でできるよう確認を徹底しています。</li> <li>●午前中に「リラクゼーション」の時間を設けて本人にあったマッサージ・ストレッチ・座位や歩行訓練等、リハビリ職の助言を得ながら共通の課題に取り組みます。</li> <li>・「体温・体調確認」…来所時および昼食前に体温・体調を確認します。他に適宜行っています。</li> <li>・「スヌーズレン」「バランスボール」「音楽活動」等…緊張を緩和することで側弯等を防止し、健康な身体を守ります。</li> <li>・「食事介助」…食事は健康の基本であることを理解し、少しでも口から食べる楽しみを知っていただけるよう、専門性を生かした介助をします。口唇訓練なども行います。</li> <li>・「足浴」…血の巡りを良くするため足浴します。</li> </ul>						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発育に必要な「騒のすわり」「寝返り」「姿勢変換」「お座り」「ハイハイ」「つかまり立ち」などを行えるようになるため、本人に応じた正しい姿勢を維持するサポートをします。</li> <li>●午前中に「リラクゼーション」の時間を設けて本人にあったマッサージ・ストレッチ・座位や歩行訓練等、リハビリ職の助言を得ながら共通の課題に取り組みます。</li> <li>・「音楽活動」等…音を感じて楽しみながら緊張を弱めたり、機能向上できるように支援します</li> <li>・「バランスボール」…平衡感覚を養います</li> <li>・「ポジショニング」「座位」「立位」「歩行」…抗重力姿勢をとり、足底で体重や重さを感じるとともに、側弯の予防に努めます</li> <li>・「足浴」「スライム」等…様々な感覚を身体に入れて過敏・鈍麻の改善、感覚の体験を支援します</li> </ul>						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●初めて見るもの触れるものを体験すること、五感や経験を積むことでご本人の世界を広げられるよう支援します。</li> <li>●季節を感じる習慣を身につけることで生活の楽しみを増やせるよう支援します。</li> <li>●支援者がこれから行おうとすることを言葉やツールを用いて説明し、本人が理解した上で、主体的に行動できるようにします。</li> <li>・「散歩」…気候、草花、匂いから季節を体感できるように支援します。</li> <li>・「外出」…日常的に行くことのできない場所に出向いて過ごすことで、非日常を体験する機会を提供します。</li> <li>・「各種ゲーム」…競争、成功、失敗、ルールを理解・体感し、喜怒哀楽を表現できるように支援します</li> <li>・「感覚遊び」…様々な感覚・知覚を身体に入れて、認知力を高められるよう支援します</li> </ul>						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニケーションの発育過程を理解して視覚、言語、社会性、遊びでの成長に寄り添った支援をします。</li> <li>●本人の意思表出を見逃さないよう職員間で情報共有しサインを共有認識します。</li> <li>●本人が理解できるツール(言葉、視線入力、絵カード等)や言葉を選択して用いることで、コミュニケーションの成立とその楽しさを伝えます。</li> <li>●支援者がこれから行おうとすることを言葉やツールを用いて説明し、本人理解のもと、行動する事で本人と支援者のコミュニケーションを大切にします。</li> <li>●できたことは褒めてできなかったことは努力したことを認めようとして信頼関係を築きます。</li> </ul>						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭から離れ初めて集団生活を送る利用者が多いため、まずは本人が保護者から離れる・事業所に慣れる・支援者に慣れる・環境(集団・他者との関係)に慣れる・生活リズムを身につけることを 目標として小学校入学までの療育を支援します。</li> <li>●同年代はもちろん、様々な年齢・様々な立場の人と関わる機会を設けることで社会経験を積み、社会性を身につけられるよう支援します。</li> <li>・「事業所内での活動」…生活介護の利用者との日常の関わりの中で集団生活を体験し学びます。</li> <li>・「施設交流」…隣の同一法人高齢者事業所と合同で交流イベントを実施し、楽しみを共有する等の社会経験を積み機会を提供します</li> <li>・「音楽活動」…音楽を介して友達と一緒に演奏したり遊んだりして関係性を深めます</li> </ul>						
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング面談だけでなく、送迎時の会話、電話連絡、メール連絡を大事にして、やり取りを細目にする事で、お互いが気軽に相談できる関係性を作っていきます。</li> <li>・急用や家庭の事情などで追加利用にも可能な限り対応していきます。</li> <li>・家族連絡会を年2回程度開催し、保護者及びきょうだい同士が交流できる機会を提供します。家族会と協同して研修会等の開催を計画します。</li> </ul>	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて家族から離れての集団生活を送るため、ご家族とのコミュニケーションを大事にし、離れても大丈夫だと思えるタイミングと信頼関係を築ける努力をします。</li> <li>・小学校入学時には、学校の情報をご家族にお知らせするだけでなく学校との情報共有、引継ぎ資料の作成など学校の支援計画にも協力します。</li> <li>・放課後等デイサービスなどの他事業所へもご家族の許可を得て情報共有や助言等の協力をしていきます。</li> <li>・職員が疑問に感じたことなどには迅速に解決できるよう研修や話し合い等を行います。</li> <li>・定期的に内部研修を行います。(月一回以上)</li> <li>・外部研修やe-ラーニングにも積極的に参加できるように体制を取ります。</li> </ul>					
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所や併用事業所、学校、医師等と適宜情報共有し、必要に応じて担当者会議を呼掛け参加します。</li> <li>・地域との関係性を大事にし、行事の参加や交流の機会を作っていきます。</li> </ul>	職員の質の向上						
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節のイベントを開催・参加しています。お花見、チューリップ祭、パーベキュー、コスモス祭、芋掘り、落花生堀り、クリスマス会、書き初め、節分、ひな祭りなど。</li> <li>・アールブリュット 障がい児絵画の専門家から月2回指導を受けて芸術表現活動を行います。</li> </ul>							